

共創文化学部 教養科目 カリキュラムマップ

ディプロマ ポリシー		DP1			DP2		DP3		DP4	
		全学DP		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
		学部DP		幅広い教養と禅の教えに基づく人間性の養成	他人に共感し理解するコミュニケーション力と自立した思考力の養成		専門性に応じた深い知識を持ち、活用する能力の養成		主体的、複眼的に考えることによって、創造的な思考・姿勢の養成	
学修指針・学修到達度		学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
		到達度Ⅰ v 4	広く社会・自然・人間について多角的な知見を有し、論点を整理しながら、解決へ向けて確実に探求し続けることができる。	社会的ルールを遵守しつつ、仏教をはじめとして、人間存在に関する深い洞察を学び、人格的向上を目指すことができる。	自らの考えを論理的に口頭で説明したり、高度な内容を、読者の反応を予想しつつ、的確で効果的な表現を用いつつ文章化したりすることができる。	現代社会の仕組みを深く理解し、自立した社会人としての責任感を身につけ、ボランティア活動など、社会をよりよくするための活動に参加することができる。	専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、新たな知見を求めて自らすすんで学習活動を維持することができる。	授業や書物等から得た知識について、実証的に、論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	各専門分野に必要な高度な技術力を修得し、それに見合う各種資格等を取得し、さらに自らの技術を磨きつづけようとすることができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、自分なりの方法論を駆使して、計画性をもって解決にまで導くことができる。
		到達度Ⅰ v 3	広く社会・自然・人間について、多くの情報を適切に取捨選択しながら整理し、問題意識を深めていくことができる。	多くの社会的価値観に触れ、柔軟なものの見方を身につけたうえで、社会のルールの基となる人間性に気付くことができる。	自らの考えを論理的に口頭で説明したり、読者の反応を予想しつつ、的確な表現を選びながら文章にまとめたりすることができる。	現代社会の仕組みを理解したうえで、よりよい社会を目指して一市民として社会活動に参加しようとすることができる。	専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、自分なりの発見を目指そうとすることができる。	授業や書物等から得た知識について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	専門分野の技能に習熟したうえで、各種資格を取得したり、各種検定等に合格したりすることができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決法を考え、解決に向けて実行すべき手順を把握することができる。
		到達度Ⅰ v 2	身の回りの事象について、複数の資料に目を通し、問題点を整理することができる。	自身の健康に気を配り、社会のマナーやルールを守り、自分の周囲の人々の行動にも配慮することができる。	自らの考えをわかりやすく口頭で説明したり、簡潔な表現で文章に見出すことができる。	政治や経済など、現代社会の仕組みを理解し自分なりに問題点を見出すことができる。	専門分野に関する知識を備え、各種の知識を自らが当面する問題に応用することができる。	授業や書物等から得た知識について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	専門分野で必要とされる基本技術に応用し物事に対応することができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決を求めて模索することができる。
		到達度Ⅰ v 1	身の回りのさまざまな事象ついて、関心を持つことができる。	自身の健康に気を配り、社会のマナーや集団でのルールを守ることができる。	自らの考えを口頭で説明したり、メモにまとめたりすることができる。	現代社会の仕組みに関してある程度説明することができる。	専門分野に関する概念や専門用語が理解できる。	授業や書物等から得た知識について批判的に対することができる。	専門分野で必要とされる基本技術を身につけることができる。	眼前にある課題に対して、その問題点を把握することができる。
	学年	科目名	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
を 建 学 学 ぶ の 科 精 目 神	1	建学の精神と仏教Ⅰ	◎	○		△				△
	1	建学の精神と仏教Ⅱ	◎	○		△				△
人間を学 ぶ科目	1	哲学	◎	○		△		○		
	1	人間と思想	◎	○		△		○		
	1	人間と文化	◎	○		△				
	1	生命の科学	◎	○		△				
	1	倫理学	◎	○		△		○		
	1	女性と人権	○	◎		△				
	1	心理学	◎	○		△				
	1	生涯学習論Ⅰ	◎				○	○		
	1	生涯学習論Ⅱ	◎				○	○		
	1	社会福祉概論Ⅰ	◎	△		△	○	○		
1	社会福祉概論Ⅱ	◎	△		△	○	○			
文化と歴史を学 ぶ科目	1	日本の文化と歴史	◎	○		△				
	1	世界の文化と歴史	◎	○		△				
	2	民俗学		○			◎	◎	○	
	2	考古学		○			◎	◎	○	
	2	歴史地理学		○			◎	◎	○	
	1	戦争と平和の歴史Ⅰ	◎	○		△				
	1	戦争と平和の歴史Ⅱ	◎	○		△				
	1	西洋文化史	◎	○						
	1	日本美術史	◎	○		△				
	1	比較文化	◎	△		○				
	1	観光地理（日本）	◎	○						
	1	観光地理（世界）	◎	○						
社会と自然を学 ぶ科目	1	日本の政治	◎	○		△				
	1	世界の政治	◎	○		△				
	1	日本の経済	◎	○		△				
	1	世界の経済	◎	○		△				
	1	政治と市民参加	◎	○		△				
	1	法学	○	△		◎				
	1	法と社会	○	△		◎				
	1	日本国憲法Ⅰ	○	△		◎				
	1	日本国憲法Ⅱ	○	△		◎				
	1	社会学Ⅰ	◎	○		△				
	1	社会学Ⅱ	◎	○		△				
	1	数学の世界	◎	○						
	1	物理の世界	◎	○						
	1	生物と生命	◎	○						
	1	地球と宇宙	◎	○						
	1	色彩と科学	◎	○						
	1・2	統計の基礎	○				◎	○	○	△

実習科目目	1・2	地域共創活動実習	△	○	△			△		○
	2	国際協力実習	△	○	△			△		
	1	海外英語研修Ⅰ			◎				△	○
	2	海外英語研修Ⅱ			◎				△	○
	2・3	English Summer Seminar			◎				△	○
就業力育成科目目	1	キャリアデザインⅠ	○		○	◎			○	
	2	キャリアデザインⅡ	○		○	◎			○	
	2	キャリアデザインⅢ	○		○	◎			○	
	3	キャリアデザインⅣ	○		○	○			◎	
	3	ビジネス・キャリア演習			○	○			○	◎
健康体育科目目	1	女性とウェルビーイングⅠ	◎	○	△					
	1	女性とウェルビーイングⅡ	◎	○	△					
	1・2	スポーツⅠ	○	○	○	○				
	1・2	スポーツⅡ	○	○	○	○				
日本語育成科目目	1	言語表現演習Ⅰ	○		◎				○	
	1	言語表現演習Ⅱ	○		◎				○	
外国語育成科目目	1	英語（会話表現）Ⅰ	○		◎				△	○
	1	英語（会話表現）Ⅱ	○		◎				△	○
	2	英語（会話表現）Ⅲ	○		◎				△	○
	2	英語（会話表現）Ⅳ	○		◎				△	○
	1	英語（読解）Ⅰ	○		◎				△	○
	1	英語（読解）Ⅱ	○		◎				△	○
	2	英語（読解）Ⅲ	○		◎				△	○
	2	英語（読解）Ⅳ	○		◎				△	○
	1・2	英会話Ⅰ			◎				△	○
	1・2	英会話Ⅱ			◎				△	○
	1・2	英会話Ⅲ			◎				△	○
	1・2	英会話Ⅳ			◎				△	○
	1	フランス語Ⅰ	○		◎	○			△	
	1	フランス語Ⅱ	○		◎	○			△	
	2	フランス語Ⅲ	○		◎	○			△	
	2	フランス語Ⅳ	○		◎	○			△	
	1	ドイツ語Ⅰ	○		◎	○			△	
	1	ドイツ語Ⅱ	○		◎	○			△	
	2	ドイツ語Ⅲ	○		◎	○			△	
	2	ドイツ語Ⅳ	○		◎	○			△	
	1	韓国語Ⅰ	○		◎	○			△	
	1	韓国語Ⅱ	○		◎	○			△	
	2	韓国語Ⅲ	○		◎	○			△	
	2	韓国語Ⅳ	○		◎	○			△	
	1	中国語Ⅰ	○		◎	○			△	
	1	中国語Ⅱ	○		◎	○			△	
	2	中国語Ⅲ	○		◎	○			△	
	2	中国語Ⅳ	○		◎	○			△	
情報力育成科目目	1	ICTリテラシーの基礎	○		◎				○	
	1	ICTリテラシーの応用	○		◎				○	
特設科目目 留学生	1	日本語Ⅰ	○		◎	○			△	
	1	日本語Ⅱ	○		◎	○			△	
	2	日本語Ⅲ	○		◎	○			△	
	2	日本語Ⅳ	○		◎	○			△	
	1	日本事情Ⅰ	○		○	◎				△
	1	日本事情Ⅱ	○		○	◎				△
	2	日本事情Ⅲ	○		○	◎				△
	2	日本事情Ⅳ	○		○	◎				△